

電気配線工事説明書

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。



安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。
- 安全のため必ずお守りください。**
- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**▲警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「**○記号**」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- ▲警告**「**△注意**」の意味
- ▲警告** 守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。
- △注意** 守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。

- ここで使われる「**○記号**」の意味は右のとおりです。
 - 絶対に付けない
 - 必ず指示に従う
- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

▲警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
- 電源回路容量不足や施工不良があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部ケーブルの外力が伝わらないように固定する。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がりやすいように整形し、カバーを確実に取付ける。カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 配線は短期にしない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。修理に不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ずOFFする。点検・修理にあたって、電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

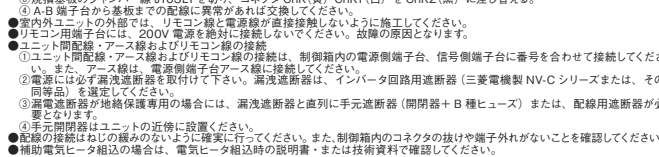
- アース(接地)を確実に行う。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース(接地)が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器(高感度対応品)を取付ける。漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全遮断するブレーカ(漏電遮断器・手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)・配線遮断器)を使用する。不適切な容量のブレーカを使用すると感電や火災の原因になります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。銅線や銅線を併用すると感電や火災の原因になることがあります。
- 配線配線は、電圧降下を防止した規格品の配線を使用する。漏電や発熱、火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子および電源用端子に単線より線を併用しない。また、異なるサイズの単線またはより線を併用しない。端子台のねじめみや接続不良が生じ、発熱・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切換

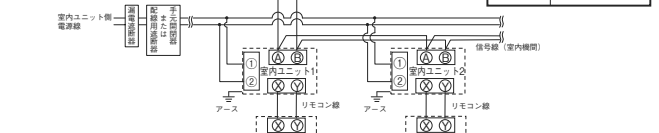
- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切換可能です。(□は工場出荷時の設定)
 - スイッチ/制御内容
 - SW1 電源ON/電源OFF
 - SW2 電源ON/電源OFF
 - SW3 電源ON/電源OFF
 - SW4 電源ON/電源OFF
 - SW5-1 ON: 電源ON/電源OFF
 - SW5-1 OFF: 電源ON/電源OFF
 - SW5-2 ON: 電源ON/電源OFF
 - SW5-2 OFF: 電源ON/電源OFF
 - SW6-1 ON: 電源ON/電源OFF
 - SW6-1 OFF: 電源ON/電源OFF
 - SW7-1 ON: 電源ON/電源OFF
 - SW7-1 OFF: 電源ON/電源OFF
- 注1: 通信方式であるスーパーリンクの仕様が選択されています。旧 SL: ビル空調 2LX シリーズ、ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前 新 SL: ビル空調 3LX シリーズ、ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降 SW5-1 が OFF (工場出荷設定) の場合は、SW5-1 を ON にしてください。自動制御になります。旧 SL 通信仕様設定で使用する場合は、SW5-1 を ON にしてください。各通信仕様の特徴、制限は「室外ユニット」に付属の据付説明書をご覧ください。

①電源・室内外配線の接続

- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。
- 配線は銅線以外のものを使用しないでください。
- 電源は、室外ユニット、室内ユニット各々別電源としてください。
- 別売品(別売品)はなしにして記載してあります。
- 同一系統の室内ユニットの電源は、必ず必ず同時 ON、同時 OFF にする必要があります。
- アース線は室内外接続線及び室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力が伝わらないようにしてください。
- 電源は工事完了するまで入れないでください。
- 接地工事を行う場合は、丸型圧着端子を使用してください。
- 端子台への接続は、丸型圧着端子を接続してください。併用した場合、電源ブレーカ落下による二次災害は生じる恐れがあります。
- 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。
- 機械室に設置された過電流及び漏洩遮断器(感度電流 30mA)を確保してください。
- 室内内の信号線は途中接続しないでください。途中接続した場合は水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねく。通信障害の原因となります。万一、途中接続する場合は、絶縁防水処理を行い、絶縁防水処理を行ってください。
- 天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線)は、スズメ等より、からしれ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
- 室内ユニットに接続する電源線は、3.5mm²まで使用可能です。5.5mm²以上の配線を使用する場合は、専用のプルボックスを使用し、室内ユニットへ接続してください。
- 信号線と電源線を間違えますと全ての基板が焼損する場合がありますので、ご注意ください。
- A-B 信号線に誤って、200V 電源を接続しても最初の1回は保護します。
- 電源投入15分経過後リモコンからユニット No.(アドレス)を確認できない場合は、全ての信号線を確認して誤接続を修復してください。



配線種別	線径
電源線	2.0~3.5mm ²
信号線	0.75~1.25mm ²
リモコン線	0.3~2.0mm ²



機種容量	漏電遮断器定格	開閉器容量	ヒューズ	電圧降下	配線径(長さ)	信号線	リモコン線	アース線
22-360P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	299mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
45-90P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	272mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
71-90P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	179mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
112-280P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	123mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
112-140P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	149mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
224-280P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	85mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
224-280P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	28mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
3系統形式システムパッケージ	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	51mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
112P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	34mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
140-160P	20A 30mA 0.1sec	30A	20A	3.5mm ² ×2	34mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
224-280P	20A 30mA 0.1sec	30A	20A	3.5mm ² ×2	34mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
4系統形式システムパッケージ	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	48mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²
750-1000P	15A 30mA 0.1sec	30A	15A	2.0mm ² ×2	48mm	0.75~1.25mm ² ×2	0.3mm ² ×2	2.0mm ²

- 注1. 配線径は、電圧降下2%とした場合を示します。上記の配線径を超える場合は、内線規程に従い、配線径を見直してください。
- 注2. リモコン線の長さ(距離)が100mを超える場合は、○リモコンの取付けに、配線径を見直してください。

冷暖フリーマルチの場合

- 冷暖フリーマルチの配線
- 本ユニットを冷暖フリーマルチで使用の場合は分圧コントローラ(別売品)に付属の据付説明書をご覧ください。

②アドレス設定

アドレス設定は、(1) 手動アドレス設定、(2) 自動アドレス設定の2方法ができます。自動アドレス設定の場合、アドレス設定後、ワイヤードリモコンからアドレスの変更が可能です。設定方法は、「室外ユニット」に付属の説明書をご覧ください。

③リモコンの取付け(別売部品)

- 次の位置へ取付けください。
- 直射日光の当たらない所
- 発熱器具に近い所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 取付面が発熱・結露する所
- 油の飛沫や蒸気が直接触れる所
- 取付面の凹凸がある所

リモコン取付・配線

- ①リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- ②リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の径は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)

- ③リモコン線の総延長は600mです。延長距離が10mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る場合は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続し、サイズを変更してください。

- 100~200m以内・・・0.5mm²×2心
- 300m以内・・・0.75mm²×2心
- 400m以内・・・1.25mm²×2心
- 600m以内・・・2.0mm²×2心

- ④誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。

- ⑤リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。

- ⑥リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありません)

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

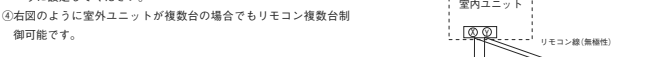
- ①1つのリモコンで複数台のユニット(最大16台)をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。

- ②グループ制御に各室内ユニット間を2心のリモコン線に渡り配線してください。

- ③室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。

- 室内ユニット基板上のロータリースイッチSW1、SW2及びディップスイッチSW5.2により、室内No.を重複しないように設定してください。

- ④右図のように室外ユニットが複数台の場合でもリモコン複数制御可能です。



複数リモコン使用時の親子設定

- 室内1台(又は1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作機優先で運転します。

- ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイヤレスリモコン2台のいずれかの組合せができます。

- 1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

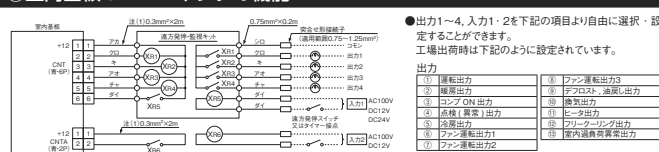
- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。

③リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX3A)	標準リモコンから操作(RC-D4G)
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続合致確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコンNo.表示]	①エアコンNo.を押してください。②▲ボタンで室内ユニットのアドレスを1台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコンNo.表示]⇒[個別送風運転]	①エアコンNo.を押してください。②▲ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。③[運転切換]を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒[リモコン親子設定]	リモコン切替スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
4	運転データの確認	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[運転データ表示]	[点検]⇒運転データ表示⇒[セット]⇒データ確認⇒室内機選択⇒▲ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認⇒▼データ選択
5	点検表示の確認	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[点検表示]	[点検]⇒運転データ表示⇒[▼]⇒エラーデータ表示⇒[セット]⇒データ確認⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	①[運転/停止]を押して、運転させてください。②[運転切換]により、「冷房」を選択します。③[試運転]を3秒以上押し続けます。表示が「冷房試運転」になります。④[冷房試運転]の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[開始]	①[運転/停止]を押して、運転させてください。表示が「冷房試運転」になります。②[▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。③[セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示:セットで停止

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

④室内基板CNTコネクタの機能



- 出力1~4、入力1~2を下記の項目より自由に選択・設定することが可能です。工場出荷時は下記のように設定されています。

- 出力
- ① 運転出力
- ② フォロウト、油戻し出力
- ③ 運転出力
- ④ 運転出力
- ⑤ 運転出力
- ⑥ 運転出力
- ⑦ 運転出力
- ⑧ 運転出力
- ⑨ 運転出力
- ⑩ 運転出力
- ⑪ 運転出力
- ⑫ 運転出力
- ⑬ 運転出力
- ⑭ 運転出力
- ⑮ 運転出力
- ⑯ 運転出力
- ⑰ 運転出力
- ⑱ 運転出力
- ⑲ 運転出力
- ⑳ 運転出力
- ㉑ 運転出力
- ㉒ 運転出力
- ㉓ 運転出力
- ㉔ 運転出力
- ㉕ 運転出力
- ㉖ 運転出力
- ㉗ 運転出力
- ㉘ 運転出力
- ㉙ 運転出力
- ㉚ 運転出力
- ㉛ 運転出力
- ㉜ 運転出力
- ㉝ 運転出力
- ㉞ 運転出力
- ㉟ 運転出力
- ㊱ 運転出力
- ㊲ 運転出力
- ㊳ 運転出力
- ㊴ 運転出力
- ㊵ 運転出力
- ㊶ 運転出力
- ㊷ 運転出力
- ㊸ 運転出力
- ㊹ 運転出力
- ㊺ 運転出力
- ㊻ 運転出力
- ㊼ 運転出力
- ㊽ 運転出力
- ㊾ 運転出力
- ㊿ 運転出力

- 入力
- ① 運転/停止
- ② 設定リセット
- ③ 運転許可停止
- ④ 運転許可OFF
- ⑤ 一時停止
- ⑥ 一時停止
- ⑦ 一時停止
- ⑧ 一時停止
- ⑨ 一時停止
- ⑩ 一時停止
- ⑪ 一時停止
- ⑫ 一時停止
- ⑬ 一時停止
- ⑭ 一時停止
- ⑮ 一時停止
- ⑯ 一時停止
- ⑰ 一時停止
- ⑱ 一時停止
- ⑲ 一時停止
- ⑳ 一時停止
- ㉑ 一時停止
- ㉒ 一時停止
- ㉓ 一時停止
- ㉔ 一時停止
- ㉕ 一時停止
- ㉖ 一時停止
- ㉗ 一時停止
- ㉘ 一時停止
- ㉙ 一時停止
- ㉚ 一時停止
- ㉛ 一時停止
- ㉜ 一時停止
- ㉝ 一時停止
- ㉞ 一時停止
- ㉟ 一時停止
- ㊱ 一時停止
- ㊲ 一時停止
- ㊳ 一時停止
- ㊴ 一時停止
- ㊵ 一時停止
- ㊶ 一時停止
- ㊷ 一時停止
- ㊸ 一時停止
- ㊹ 一時停止
- ㊺ 一時停止
- ㊻ 一時停止
- ㊼ 一時停止
- ㊽ 一時停止
- ㊾ 一時停止
- ㊿ 一時停止

- 工場出荷時の設定
- CNT出力1:運転出力
- CNT出力2:運転出力
- CNT出力3:運転出力
- CNT出力4:運転出力
- CNT出力5:運転出力
- CNT出力6:運転出力
- CNT出力7:運転出力
- CNT出力8:運転出力
- CNT出力9:運転出力
- CNT出力10:運転出力
- CNT出力11:運転出力
- CNT出力12:運転出力
- CNT出力13:運転出力
- CNT出力14:運転出力
- CNT出力15:運転出力
- CNT出力16:運転出力
- CNT出力17:運転出力
- CNT出力18:運転出力
- CNT出力19:運転出力
- CNT出力20:運転出力
- CNT出力21:運転出力
- CNT出力22:運転出力
- CNT出力23:運転出力
- CNT出力24:運転出力
- CNT出力25:運転出力
- CNT出力26:運転出力
- CNT出力27:運転出力
- CNT出力28:運転出力
- CNT出力29:運転出力
- CNT出力30:運転出力
- CNT出力31:運転出力
- CNT出力32:運転出力
- CNT出力33:運転出力
- CNT出力34:運転出力
- CNT出力35:運転出力
- CNT出力36:運転出力
- CNT出力37:運転出力
- CNT出力38:運転出力
- CNT出力39:運転出力
- CNT出力40:運転出力
- CNT出力41:運転出力
- CNT出力42:運転出力
- CNT出力43:運転出力
- CNT出力44:運転出力
- CNT出力45:運転出力
- CNT出力46:運転出力
- CNT出力47:運転出力
- CNT出力48:運転出力
- CNT出力49:運転出力
- CNT出力50:運転出力
- CNT出力51:運転出力
- CNT出力52:運転出力
- CNT出力53:運転出力
- CNT出力54:運転出力
- CNT出力55:運転出力
- CNT出力56:運転出力
- CNT出力57:運転出力
- CNT出力58:運転出力
- CNT出力59:運転出力
- CNT出力60:運転出力
- CNT出力61:運転出力
- CNT出力62:運転出力
- CNT出力63:運転出力
- CNT出力64:運転出力
- CNT出力65:運転出力
- CNT出力66:運転出力
- CNT出力67:運転出力
- CNT出力68:運転出力
- CNT出力69:運転出力
- CNT出力70:運転出力
- CNT出力71:運転出力
- CNT出力72:運転出力
- CNT出力73:運転出力
- CNT出力74:運転出力
- CNT出力75:運転出力
- CNT出力76:運転出力
- CNT出力77:運転出力
- CNT出力78:運転出力
- CNT出力79:運転出力
- CNT出力80:運転出力
- CNT出力81:運転出力
- CNT出力82:運転出力
- CNT出力83:運転出力
- CNT出力84:運転出力
- CNT出力85:運転出力
- CNT出力86:運転出力
- CNT出力87:運転出力
- CNT出力88:運転出力
- CNT出力89:運転出力
- CNT出力90:運転出力
- CNT出力91:運転出力
- CNT出力92:運転出力
- CNT出力93:運転出力
- CNT出力94:運転出力
- CNT出力95:運転出力
- CNT出力96:運転出力
- CNT出力97:運転出力
- CNT出力98:運転出力
- CNT出力99:運転出力
- CNT出力100:運転出力

- 設定の方法は技術資料をご覧ください。

⑤ リモコンからの操作・設定

A: eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
 B: eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
 C: インターネットよりユーザーマニュアルを配信中です。
 ○: eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
 △: eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
 ※1: RC-DX3以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン 1 台 (リモコンネットワーク内) に最大 16 台室内機を接続制御できます。室内機側にもアドレスを設定します。	○	○
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に 2 個のリモコン (含むワイヤレスリモコン) を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2. TOP 画面・SW 操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	○
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除霜を設定します。	A	○
3 設定温度	室温を 0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します (FDK の場合)。※2	A	△
5 風量	風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転/停止 SW	運転を開始します。 / 停止します。	A	○
8 F1 スイッチ	※1 F1 スイッチの期待された機能で運転、操作を行います。	A	○
9 F2 スイッチ	※1 F2 スイッチの期待された機能で運転、操作を行います。	A	○
3. 便利機能			
1 フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲 (上限位置・下限位置) を設定します。FDK の場合は左限位置・右限位置も設定します。 ※2	A	△
2 ドラフト防止設定 (エアフレックス設定) ※1	エアフレックスバルブを使用する場合、各運転モード、各気出口のエアフレックス (ドラフト防止) 機構・動作の有効/無効を設定します。	A	○
エアフレックスバルブ組合せの場合			
3 タイマー設定			
時間入タイマー	停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
時間切タイマー	運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1 ～ 12 時間の範囲を 1 時間単位で設定可能です。	A	△
時刻入タイマー	運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ、毎日の切替が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
時刻切タイマー	運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・1 回のみ、毎日の切替が可能です。	A	△
タイマー設定内容確認	各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	○
4 おこみ設定 管理者パスワード	※1 おこみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこみ設定 1、おこみ設定 2 のそれぞれに設定が可能です。	A	○
5 ウォークリタイマー	1 週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1 日最大 8 バターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。	A	△
6 すすみ運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度に冷房/暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	○
7 換気 換気機器組合せの場合	換気の ON/OFF 操作を行います。 [メニュー] ⇒ [サービスマネージ] ⇒ [リモコン設定] ⇒ [換気設定] の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止が可能です。	A	○
8 言語切替設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / オランダ語 / ※2 トルコ語 / ポルトガル語 / ロシア語 / ポーランド語 / 中国語	A	△
9 見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット・室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	○



⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
10 消費電力量表示	今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット・室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A	○
4. 省エネ設定			
1 切忘れ防止タイマー	管理者パスワード 運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ～ 240 分 (10 分単位) まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A	△
2 ピークカットタイマー	電力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 バターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0.40 ～ 80% (20% 単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A	○
3 設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ～ 120 分 (10 分単位) まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△
4 赤外線センサー制御 (人感センサー制御) ※1 人感センサー付パネル組合せの場合	人感センサーを使用する場合、パワーコントロールヒートセーブの有効/無効を設定します。	A	○
5. お手入れ			
1 フィルタサイン リセット	フィルタサインの解除 次回清掃日の設定 フル清掃日の設定を行います。	A	○
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル組合せの場合 グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ～ 4.0 m の範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m 単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。	A	○
3 お掃除パネル設定 管理者パスワード	自動清掃の有効/休止を設定します。 清掃開始時刻を設定します。 自動清掃する最小の間隔を設定します。 ダスト回収設定 ダストの回収時期を設定します。 ブラシ清掃回数設定 ブラシの清掃回数を設定します。	A	○
6. ユーザ設定			
1 時刻設定	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。	A	△
時刻表示設定	時刻表示のあり/なし、12 H / 24 H、AM/PM 位置、を設定します。	A	○
サマータイム補正	現在時刻に対し、±1 時間の補正を行います。	A	○
コントラスト調整	液晶の温度の調整を行います。	A	○
バックライト	バックライトの有効/無効、点灯時間を設定します。	A	○
ブザー音	タッチパネル操作時のブザー音のあり/なしを設定します。	A	○
運転ランプ輝度 ※1	運転ランプの輝度の調整を行います。	A	○
2 管理者設定 管理者パスワード	操作制限設定 ・操作の許可/禁止を設定します。 [運転/停止] [設定温度切替] [運転モード切替] [風向切替] [風量切替] [ハイパワー運転] [省エネ運転] [見てみて] [タイマー設定] [消費電力量表示] ※1 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定] [グリル降下長設定] [ウォークリタイマー設定] [言語切替設定] [ドラフト防止設定] ※1	A	△
室外静音タイマー	室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。	A	△
設定温度範囲	設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。	A	△



⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 管理者設定 管理者パスワード	温度設定切替 設定温度の刻み (0.5℃ / 1.0℃) を設定します。 設定温度の表示の仕方切り換えます。 リモコン表示設定 リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり/なしを設定します。 点検コード、電源準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・外温表示のあり/なしを設定します。 管理者パスワード変更 ※1 管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。 スイッチ機能変更 ※1 設定できる機能 [ハイパワー運転] [省エネ運転] [室外静音制御] [すすみ運転] [おこみ設定 1] [おこみ設定 2] [フィルタサインリセット] [グリル昇降] [消費電力量表示]	A	○
7. サービス設定			
1 据付設定 サービスパスワード	据付日登録 据付日を登録した場合、点検表示を行います。 サービス情報入力 リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。 試運転 試運転の開始 / 停止を制御できます。 冷房試運転 設定 5℃ 30 分間運転します。 ドレンポンプ試運転 ドレンポンプのみを運転します。 お掃除パネル設定 フィルタ清掃 / フラン清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合 ダクト風静圧補正 機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。 自動アドレス変更 個別発行マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。 親室内機アドレス設定 個別発行マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。 バックアップ制御 1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルダバックアップ運転の有効/無効が設定できます。 赤外線センサー設定 (人感センサー設定) ※1 無効の場合は、省エネ設定の赤外線センサー制御を行うことができます。 人感センサー付パネル組合せの場合 グリル昇降操作 ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	○
2 リモコン設定 サービスパスワード	リモコン親子設定 リモコン親子設定の変更が可能です。 1 台のリモコンに複数室内ユニットが接続されている場合、サーモ判定に用いる感温センサーを選択できます。 ・個別、親機 / 平均の選択が可能です。 リモコンセンサー リモコンセンサーに切り替えるモードを設定できます。 冷房 / 暖房 別々に切替可能です。 リモコンセンサー補正 リモコンセンサー検知温度を補正できます。 冷房 / 暖房 別々に補正可能です。 運転モード選択 各運転モード毎に有効/無効を設定できます。 設定温度単位 設定温度の単位を設定します。 ・℃ / F の選択が可能です。 ファン速度 ファン速度の選択が可能です。 外部入力設定 1 つのリモコンに複数室内ユニットが接続された場合、CnT 入力の適用範囲が設定されます。 上下ルーバ制御 上下ルーバの [4 位置停止] / [フリー停止] の切替ができます。 左右ルーバ制御 ※2 左右ルーバの [固定位置停止] / [フリー停止] の切替ができます。 換気設定 換気ユニット組合せ制御が設定できます。 停電補償 停電復帰した場合の制御内容を設定できます。 設定温度自動設定 設定温度自動の有効/無効を選択できます。 風量自動設定 風量自動の有効/無効を選択できます。	B	○



⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
3 室内設定 サービスパスワード	風速設定 室内ユニットの風量タップを設定します。 フィルタサイン フィルタサイン点灯タイマーの設定が換えられます。 外部入力 1 設定 外部入力 1 の制御内容を換えられます。 外部入力 1 方式切替 外部入力 1 の信号方式を換えられます。 外部入力 2 設定 外部入力 2 の制御内容を換えられます。 外部入力 2 方式切替 外部入力 2 の信号方式を換えられます。 暖房室温補正 暖房サーモ判定値を 0 ～ +3℃ の範囲で補正できます。 吸込温度補正 吸込センサー検知温度を ±2℃ の範囲で補正できます。 冷房ファン制御 冷房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。 暖房ファン制御 暖房サーモ OFF 時のファン制御を変更できます。 フロスト防止温度 冷房中室内ユニットの凍結防止制御の判定温度を変更できます。 フロスト防止制御 冷房中室内ユニットの凍結防止制御動作後のファンタップアップを変更できます。 ドレンポンプ運転 冷房・除湿以外の運転モードでのドレンポンプ運転範囲を設定できます。 冷房ファン残留運転 冷房停止・冷房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。 暖房ファン残留運転 暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転を設定できます。 暖房ファン閉込 暖房停止・暖房サーモ OFF 後のファン残留運転後のファン運転を設定できます。 送風サーモ運転 送風時のサーキュレーション運転を設定できます。 外調機設定 マルチユニット外調機検知運転時の圧力制御を変更できます。 運転モード自動判定設定 運転モード自動判定方法を 3 種類から選択できます。 サーモ判定切替 サーモ判定を室外温度で補正することができます。 風量自動切替 風量自動切替における自動切替範囲を設定できます。 室内過負荷アラーム 運転開始 30 分後、設定温度と吸込温度の差が過負荷アラームで設定した温度差以上ある場合、外部出力 (CNT-5) から過負荷アラーム信号を送信します。	B	○
4 サービス・メンテナンス サービスパスワード	外部出力設定 ※1 外部出力 1 ～ 4 に割り当てられる機能を換えられます。 エアコン No. 表示 リモコン 1 台に 16 台の室内ユニットを接続できます。個別送風運転で確認できます。 次回点検日 次回の点検日を登録することができます。点検日に連絡先を表示します。 運転データ表示 室内ユニット・室外ユニットの運転データをモニターすることができます。 点検表示 過去に異常履歴 (点検コード、発生時間) を表示します。 異常履歴データ表示 直前の異常発生時の運転データを表示します。 異常時運転データ消去 異常時運転データを消去します。 定期点検リセット 定期点検タイマーをリセットします。 室内設定保存 接続室内ユニット基板設定室内リモコンバックアップすることができます。 特殊操作 室内アドレス消去 [CPUリセット] [初期化設定] [タッチパネル調整] の操作をします。 室内機容量表示 ※1 リモコンに接続されている室内アドレス番号とその容量を表示します。 お掃除パネル点検 お掃除パネルの詳細点検操作ができます。	B	○
8. 困ったときは・・・	連絡先表示 登録した連絡先・TEL 番号、サービスフロントセンターフリーコールを表示します。 QR コードでインターネット接続→点検コード内容を検索できます。 2 サービスを依頼される前に Q & A Q & A が表示されます。	A	○
9. 点検表示	点検表示確認 異常発生時の表示	A	△
10. バックアップ	[USB 接続] ウォークリタイマー設定他、パソコンから一括設定ができます。	C	○

